

## 【会議記録－令和5年10月12日－20231012－4－議会改革検討会議】

1 開催日時 令和5年10月12日（木）11時00分～15時57分

2 開催場所 議会中会議室

3 出席者

(1) 出席議員

座長 あらい 絹世

委員 山本 哲、芥川 薫、ます 晴太郎、米村 和彦、菅原 あきひと  
佐藤 けいすけ、野内 みつえ、鈴木 ひでし、添田 勝

(2) 議会局出席者

局長 浦邊 哲、副局長兼総務課長 高瀬 正明

管理担当課長兼総務課副課長 佐藤 徹、経理課長 奥澤 陽一

参事兼議事課長 井上 実、政策調査課長 林 弘幸

4 議事

(1) 多目的傍聴室の設置について

はじめに、前回座長から提案し、各会派持ち帰りの上、検討することとした「多目的傍聴室の設置について（検討案）」について、各会派の検討結果を確認した。

(質疑概要)

(鈴木委員)

設置については賛成である。ただし、前回話したように、お子さんをお連れの方が退出されるようになった場合の待機場所や、そこで議会の中継を引き続き見られるような配慮がされるかが心配だ。

(政策調査課長)

待機場所につきましては、6階に設けてあります「託児ルーム」のほかに8階の、「委員会会議室」にも待機場所を設けることとしたいと考えている。また、その際には、引き続き本会議の状況を見ることができるよう、モニターを置くなどの配慮もさせていただきたいと考えている。

(鈴木委員)

来てくださった方々に対する最大のおもてなしというのが大事だろうと考える。完璧な防音は無理なのだろうが、防音や待機場所等の配慮についてお願いしたい。

次に、前回の検討を踏まえて、多目的傍聴室の設置について、資料1により、具体的に検討した案が議会局から説明された。

(質疑概要)

(菅原委員)

ある程度の防音性は確保できるとのことだが、乳幼児を連れた傍聴者等が安心感を持って利用できる設備になるのか。

(政策調査課長)

通常の会話程度であれば、議事の妨げにならないと考えられ、お子さんが泣き出ししたりした場合には、職員が託児ルームに案内するなど、速やかな対応を行うことを考えており、そういった対応を含めて安心感を感じていただければと考える。

(菅原委員)

参考案の記者席を多目的傍聴室とする案については、壁を取り壊すなどの大規模工事となることから、現実的ではないということか。また、示された案ではパーテーション上部が開いているが、上部を塞ぐ工事についても、大規模な工事となり、費用対効果から現実的ではないということではないか。

(政策調査課長)

どちらも、空調設備や排煙設備の工事が必要となり、大規模な工事となり、相当な費用がかかると考えられることから、現実的ではないとしている。

資料1については、各会派持ち帰り検討することとし、再開後に検討結果を確認することとした。

## (2) 議会のデジタル化について

当会議で検討を進めることとした、請願書、陳情書及び政務活動費に係る手続きを除いた「オンライン化が可能となった手続き」について、資料2により、議会局から説明された。

《 11:20～15:50 休憩 》

### 多目的傍聴室の設置について

休憩前に、各会派持ち帰り検討することとした資料1について、各会派の検討結果を確認した。

(質疑概要)

(野内委員) 案については賛成である。併せて多目的傍聴室の設置及び託児ルームについて、周知に取り組むようお願いする。

(鈴木委員) 案については賛成である。託児ルームを確認したが、可能であれば、幼児のためのおもちゃなど備えておき、議会として迎えているという形にしていきたい。

協議の結果、多目的傍聴室の設置については、座長案のとおり進めることとして了承された。

座長案が了承されたため、座長から報告書(案)が示され、その内容について議会局から説明があり、了承され、決定した。

報告書は、本日の本検討会議終了後に、座長から議長に提出することとなった。

以上